

土砂災害

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

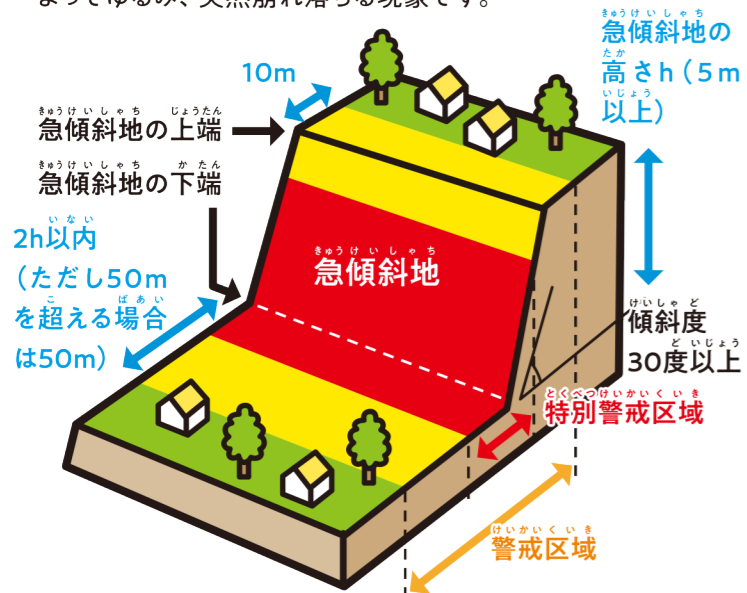
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害警戒区域内または周辺にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となる可能性がありますので、避難情報にも注意してください。

土砂災害の種類

急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透などによってゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

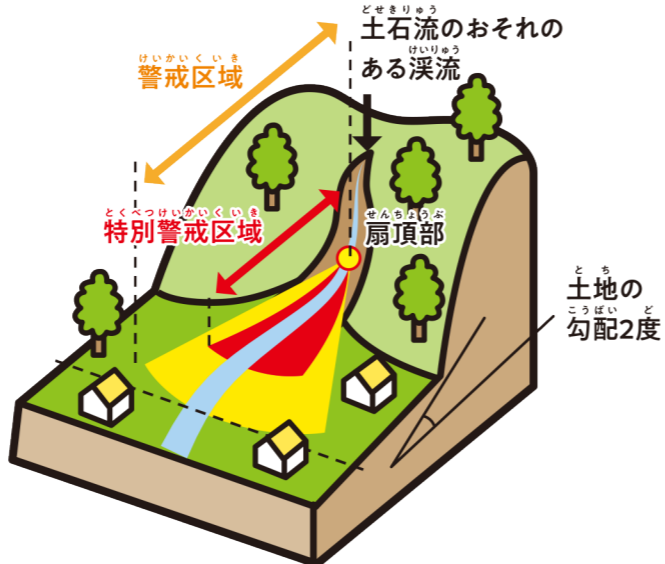


前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がバラバラ落ちてくる

土石流

山腹、谷底にある土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。



前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

土砂災害警戒情報

大雨により、土砂災害の発生危険性が高まった場合に佐賀県と佐賀地方気象台が共同で発表します。

この情報が発表されたときは、『いつ土砂災害が起きてもおかしくない』という非常に危険な状態です。

また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害の発生するおそれがあるため、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、避難してください。

大雨注意報

大雨警報

土砂災害警戒情報

非常に危険な状態です。

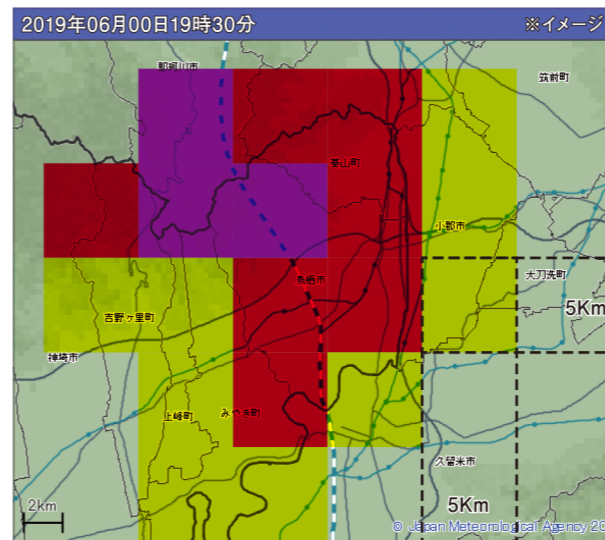


土砂災害警戒判定メッシュ情報

土砂災害の危険度の高まりを、地図上に5段階で色分け表示しています。

避難にかかる時間等を考慮して、2時間先までの予測値を用いており(10分ごとに更新)、大雨警報(土砂災害)、

土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



色が持つ意味	説明	市から発令される避難情報(目安)
極めて危険	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する状況。命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生しているにもかかわらず、この状況になる前に避難を完了しておく。	緊急安全確保
非常に危険	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。遅くともこの時点で速やかに避難を開始する。	避難指示
警戒 (警報級)	土砂災害への警戒が必要。避難の準備を整え、早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。	高齢者等避難
注意 (注意報級)	土砂災害への注意が必要。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

「極めて危険」(紫色)が出現すると、命が奪われるような土砂災害がすでに発生しているにもかかわらず、このため、高齢者等は遅くとも「警戒」(黄色)が出現した時点で、一般の方は「非常に危険」(赤色)が出現した時点で、土砂災害警戒区域の外の少しでも安全な場所へ速やかに避難することが大変重要です。また、このメッシュ情報に関わらず、市から避難情報が発令された場合は速やかに避難してください。

土砂災害時における避難のポイント

がけ崩れのおそれがある場合

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところはがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げてください。



土石流のおそれがある場合

溪流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとて速いので、土石流を見たら、流れに直角方向に逃げましょう。

